

## 函館駅前・西部地区花いっぱい業務に係るプロポーザル審査結果について

令和7年1月17日に実施した審査委員会において、評価基準に基づき審査を行った結果、次のとおり受託候補者を決定しました。

**企画提案者(1者)** 株式会社 桔梗造園

**受託候補者** 函館市石川町243番地  
株式会社 桔梗造園  
代表取締役 山本 久明

### 評価点

審査項目	配点	受託候補者
<b>企画提案に関する項目</b>		
「ガーデンシティ函館」の駅前・大門地区や西部地区のコンセプトに沿ったものか	20	16.00
春から秋にかけて絶え間なくボリュームを持った花を彩るデザインとなっているか	10	9.60
鮮やかな彩りの花による、華やかなデザインとなっているか	10	7.60
毎年変化していく花壇デザインとなっているか	10	9.20
夜の花壇を明るく彩る花のデザインとなっているか	10	7.60
実現性の高い業務内容となっているか	10	8.40
具体的な整備内容となっているか	10	9.20
<b>提案価格に関する項目</b>		
配点×(最低提案価格/各提案者の提案価格) 少数第一位を四捨五入する	10	10.00
<b>事業者に関する項目</b>		
事業を適切に実施できる体制を整えているか	10	9.60
<b>合計</b>	<b>100</b>	<b>87.20</b>

**審査委員会委員**

笠 康三郎	(有限会社 緑花計画 代表取締役)
中村 喜憲	(函館都心商店街振興組合 副理事長)
神林 眞里	(函館大谷短期大学名誉教授)
飯野 智子	(一般社団法人函館国際観光コンベンション協会 総務ホスピタリティ委員長)
渡邊 実緒	(北海道教育大学函館校教育学部国際地域学科 地域協働専攻地域環境科学グループ3年)

## 函館駅前・西部地区花いっぱい業務に係るプロポーザル審査結果通知

本審査委員会は、函館市が実施する函館駅前・西部地区花いっぱい業務の最も適した委託先を選定するため、厳正な審査を行った。

プロポーザルには、1者の応募があり、令和7年1月17日に実施した審査委員会において、評価基準に基づき審査を実施し、最適提案者を選定したので、次のとおり通知する。

### 1 審査結果

(1) 最適提案者： 株式会社 桔梗造園

### 2 最適提案者の選定理由

函館市では、平成24年度～令和3年度にかけて函館の顔である駅前・大門地区において、市の施策である魅力ある景観・町並み・市街地の形成を目指し、函館駅前広場において彩り豊かな花壇の整備を実施しており、令和4年度からは、これまで対象としてきた函館駅前広場に加え、新たに西部地区へつながるルートについても花で彩ることで、市民も観光客も、見て、歩いて、感じて楽しい、何度も訪れたくなる空間を創出するため、魅力的な花壇整備を実施するとしている。

このたび選定した最適提案者の提案については、函館駅前広場や西部地区の花壇整備イメージに沿ったデザインであり、実現性の高い業務内容となっていること、業務内容の理解度が高く、業務執行体制が優れていることなど、より具体性のある提案となっている点を評価した。

また、的確な業務実施の方向性が示されており、安定的な花壇維持管理が可能であるものと判断されると共に、受託候補者は、十分な類似事業の実施経験を有していることから、本提案の信頼性も高いものと評価した。

以上の評価については、審査委員会の採点においても、高得点が得られ、最適提案者に選定したものである。

事業実施に際しては、下記の点について発注者と十分協議の上、より魅力ある花壇となるよう努力されたい。

- ・ 今回のテーマである「函館の海と灯り（夜景・漁火）を感じる花壇」が、見る人にイメージできるよう、函館駅前広場の各花壇に設置する、海をイメージしたオブジェのデザイン（ヨットの帆やゲートなど）に連続性を持たせるよう改良するほか、波を感じられるよう高低差を設け、つる性植物を這わせるなど工夫を行うこと。
- ・ 函館駅前広場の花壇についてはブルーを中心とした色彩でまとめると寂しい印象を与え、また、ライトアップしても映えないことから、暖色系の花を取れ入れ、白いチューリップには赤やピンク系の花を差し込むなど、色彩を改良すること。
- ・ 開港通の花壇は潮風がかぶるところなので、函館にも自生のある海岸植物のシロヨモギなどをカラーリーフとして取り入れるなど試行すること。
- ・ インスタなど SNS を活用してその時々のお花を積極的に紹介するなど、市と協力しながら情報発信に努めること。